



朝夕の冷え込みが一段と増し、周囲の木々も少しずつ冬の装いへと変わってきました。

体調を崩しやすい季節ですので、生活リズムを整え、体調管理にも気を配っていきましょう。

ところで、11月30日は「絵本の日」だそうです。たくさんの絵本と子どもたちが出会い、心を豊かに育んでいたら嬉しいですね。

寝る前の1冊は、ママやパパの優しい声に包まれて、子どもたちが安心してぐっすり眠れるひとときになりそうです。

🎤 柴田 愛子 先生 講演会のお知らせ 🎤

12月13日(土)、柴田 愛子 先生をお招きし、子育て応援講演会を開催します！
(10:00~12:15/中里こども園ホールにて)

テーマは「子どもに寄り添った子育て・保育」です。

【柴田 愛子 先生プロフィール】

1948年、東京都生まれ。私立幼稚園に5年間勤務後、多様な教育方法に迷い一度退職。OLを経験したのち、再び幼稚園勤務へ戻る。

1982年、「子どもの心に寄り添う」を基本姿勢とした保育・子育て支援の場「りんごの木」を設立。以来、保育実践のほか、講演・執筆・絵本制作など、幅広く活躍。

テレビやラジオなどのメディア出演も多数。現在、NHKEテレ「すくすく子育て」にも出演中です。

子育てをもっと楽しみたい方、これから子育てを始める方、子どもの発達や成長が気になる方、保育関係者の皆さんも、ぜひご参加ください。

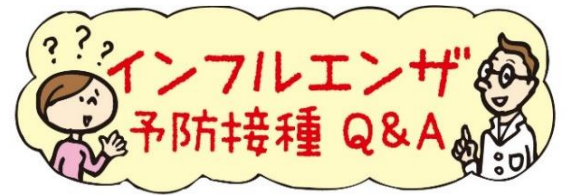
参加費無料、託児は要相談です。

詳細は下記までお問い合わせください。

☎0173-57-2057

(中里こども園支援センター 担当：木村)

LINE公式アカウントからのお問い合わせも可能です。



かぜよりも症状が重く、感染力も強いインフルエンザ。0、1、2歳児がかかると、肺炎やインフルエンザ脳症を引き起こすことも。予防接種を受けておくと、万が一かかっても軽い症状で済むので安心です。

Q 去年インフルエンザの予防接種を受けたので、今年は受けなくてよい？

A 原因になるウイルスには、主にA型、B型、C型の3つがあり、年によって流行する型が違います。A型B型がよく流行しますが、毎年予防接種を受けることで、効果が期待できます。

Q 受けるとインフルエンザにかからないの？

A 必ず発病を防げるというものではありませんが、かかっても重症化したり、合併症を起こしたりするリスクを減らすことができます。

Q 予防接種の効果が続く期間は？

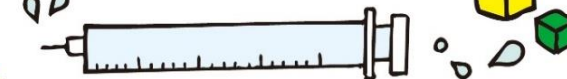
A 接種後、効果が現れるまでに約2週間かかり、その後半年くらいは持続します。

Q 接種の方法は？

A 生後6か月から受けられます。大人は1回接種、13歳以下の子どもは2回接種が必要。1回目の接種の後、2~4週間あけて2回目を接種します。ただし卵アレルギーがある子は、医師と相談しましょう。

Q いつごろ受けたほうがよいの？

A 最も患者数が増えるのは1月~2月ですが、流行は12月ごろから始まります。それまでに免疫をつけておきたいので、1回目は10月後半ごろ、2回目は2~4週間後に接種しましょう。



☎037-0305 中泊町大字中里字紅葉坂 27-1

中里こども園 子育て支援センター
(0173)57-2057 (FAX 兼)

日にち	活動名	内容
4日(火)	コアラくらぶ	のびのびあそび
7日(金)	ピバサークル	手作りおもちゃ
14日(金)	ピバサークル	手作りおもちゃ

子育て支援センター公式LINEのご案内

毎月のお便り、活動についてのお知らせなどを受け取ることができます。

支援センター活動日の参加申し込みは、その都度、公式LINEまたはお電話でお願いします。参加申し込み、キャンセルの連絡は当日の朝9時までをお願いします。



※熱がいつもより高めるときや、便の様子が普段と違うときなど、体調に変化が見られる場合は、無理をせずお家でゆっくり休みましょう。元気になったら、また遊びに来てくださいね。

※11日(火)は「もちつき会」実施のためお休みです。また、11月後半は「おゆうぎ会」の練習期間となるため、支援センターの活動はお休みさせていただきます。※次回の活動日は12月9日(火)を予定しています。

~お願い~

活動中は、ご自身のお子さんの写真や動画を撮影していただき構いません。ただし、他のお子さんを許可なく撮影したり、園児や園内の様子をSNSに投稿・共有することは、思わぬトラブルの原因となりますのでお控えください。

